

## きすさし網漁業の漁具・漁法について

漁法	操業は、夜明けから夕方までで、夜明け前に漁場へ行き、夜明けとともに投網する。投網後、元旗（投網始め）に行き、拾旗（投網終り）を中心にして「の」字を書くようにして巻き、巻き終わったら揚網する。 揚網したら、別の網を投網し、再び巻き始める。この間に先の網の魚ははずす。 1日4～5回操業。		
使用漁船	1～5トン	乗組員数	1人
漁場	海共第2号（遊佐・酒田地区）6，800メートル、海共第3，4号（鶴岡地区）6，500メートル以内（酒田沖保護区域を除く）		
漁期	4月1日～12月31日	使用漁具数	6～7反 2組

操業図

